

<検討項目>長野県廃棄物処理計画（第6期）素案（中間報告案）について

章	主な発言等	対応状況
全体	コラムを有効に活用してほしい。 この計画を県民、事業者、市町村の担当者が使えるドキュメントに仕上げてほしい。	県民、事業者、市町村の皆様の取組につながるよう、事例等を紹介するコラムを盛り込みます。 また、計画策定後の広報においては、県民、事業者等の各主体に向けたポイントを整理する等の工夫を行います。
	脱炭素の要素に後退感がないよう工夫してほしい。	第1章の6（施策の方向性）に、「廃棄物の減量化や適正処理の推進を通じて、2050ゼロカーボンの実現等の様々な課題の解決」を図ることを明記します。（P5）
	住民向けの広報啓発について、県と市町村が連携してしっかり取り組んでほしい。	様々なキャンペーンや月間について、それぞれの目的を踏まえながら、効果的な広報啓発に取り組んでまいります。（P77、P88他）
第1章	循環型社会を形成する目的や住民への恩恵を記載してほしい。	第1章の5（目指す将来像）に、循環型社会の形成が「わたしたちの暮らしが環境負荷の少ない、良好な生活環境の中で営まれ、本県の美しく豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくこと」につながることを記載します。（P4）
	第6期計画で力を入れたポイントがわかりにくい。	第1章に主な見直しポイントの説明を記載します。（P6）
第2章	4Rの表現方法について計画でも触れた方がよいのではないか。	第1章に4R（3R+リプレイス）の説明を記載します。（P7）
	廃棄物の現状のグラフに数値目標を追加してほしい。	現状の推移と数値目標を記載したグラフを追加します。（P31、P35他）

第4回廃棄物専門委員会における委員の主な発言等

章	主な発言等	対応状況
第4章	循環経済に関する記載がまだ薄く見える。 循環経済のイメージ図は別の図に改めてほしい。	循環経済に関する節を第4章のトップに位置付けるとともに、循環経済のイメージ図を改めます。（P42）
	一般廃棄物のリデュースについて、事業系一般廃棄物の減量化の施策が薄く見える。	食品ロス削減が事業系一般廃棄物の削減につながることを記載します。（P48）
	第4章第3節「使用済み製品の再使用（リユース）の推進」が他の節と比較すると薄く見えてしまう。	具体的な事例等を紹介するコラムを盛り込みます。（P58、P59）
第5章	リチウムイオン電池が使用されている製品を住民に周知する取組を加えてほしい。	リチウムイオン電池が使用されている製品について住民に周知啓発することを追記するとともに、コラムを追加します。（P95）
	「廃棄物条例の運用」の「施策の展開」について、もう少し具体的に記載してはどうか。	当該項目についてより具体的な記載を行います。（P98）
	PFAS・PFOAについて計画で触れるか検討してほしい。	PFAS・PFOAに関する記載を追加します。（P99）
	住民が平時から災害の発生について意識するという要素を加えてほしい。	住民の役割として「日頃から災害に備える意識を高めること」を記載します。（P113）